

PTA会報

No.51 2009.11

# 嵩山



S. Takeeda

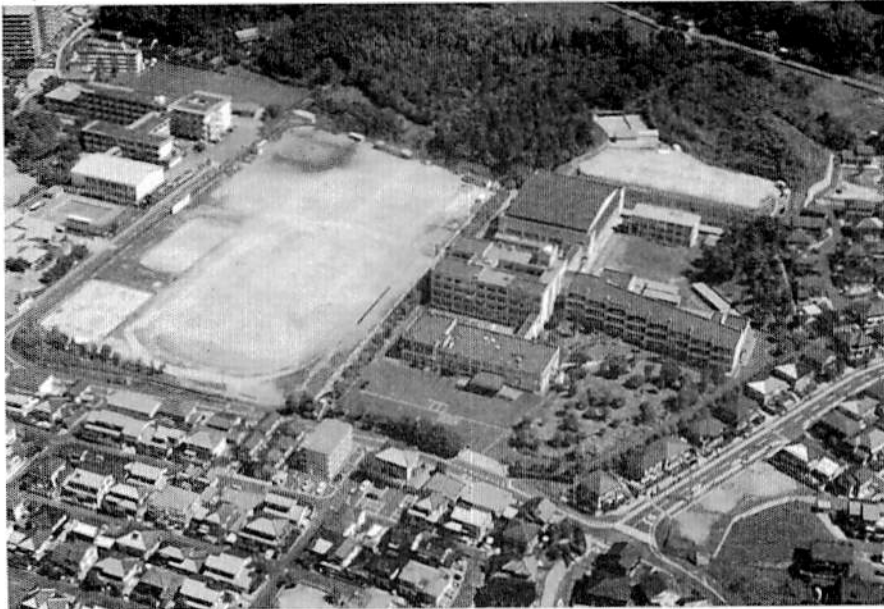
松江東高

---

目次

○ P T A会長挨拶	1
○ 校長挨拶	2
○ 特集「部活動と高校生活」	3
○ 部活結果一覧	13
○ 新任教職員自己紹介	16
○ P T A会務報告	19
○ 編集後記	20

---





## 『感謝の心を育てよう』

PTA会長 岡田 俊明

平素は校長先生を始めとする教職員の皆様、嶺会の役員の皆様には子供たちのため、勉強・部活動にとあらゆる面でお世話になり感謝申し上げます。

この度はPTA会報誌の執筆の依頼を請け、もうこんな時期に来たのかと認識すると共に、何もしていなかった自分を反省することしきりでありませぬ。

そして、全国高P連沖縄大会当日に体調不良で急遽欠席をしてしまい、大変ご迷惑をおかけしてしまいました。誠に申し訳ありませんでした。こんな迷惑をかけた中で一つ感じた事がありました。「定(さだめ)」です。四月頃から沖縄を意識し、ある面では昨年の愛知大会同様に期待をしていたのですが、前日からの腹痛でどうしても我慢ならず、当日早朝に校長先生と関係者に連絡を取り欠席の意思を伝えました。どうしようもなかったのですが、無理をすれば皆に迷惑をかける事になると諦め、しっかりと休養する事に専念しました。三日間横になって体を休ませ、お蔭様ですっかり回復したようです。また、普段ではできない読書を時間をかけじっくりすることができまし

た。読みたくて重ねてあった本を引つ張り出し、なんと三冊も読むことができました。こんな時間を与えてくださった神様には感謝の気持ちで一杯です。「休んで本を読む時間をつくりましたよ。」という神様のちょっとした悪戯だったのかもしれないね。そして、これらの本の中で特に感銘した一冊の本をここで紹介したいと思います。

『中村久子の生涯』 致知出版社

この人物は実在した人であり、その人生は正に想像を絶した生きざまでありませぬ。わずか三歳で両手両足切断の非業の運命を背負いつつ、見事に生き抜いた不屈の人であり、その生きざまは人々に人生の大きな指針を与えてくれます。

ここで考えさせられたのはまず本人ではなく彼女を生んだ親御さんでした。父親は彼女を愛し、どんな事になろうとも手元から離さず生きて行くとうとしましたが、彼女が七歳のときに死別してしまいました。ここで母親は自分が死んだ後も久子が独りで生きてゆけるようにと厳しい躾をしました。例えば、内職で糸つむぎを手伝わす時、糸と糸をどうしたら結べるのか教えるのではなく自分

で考えさせ、手の無い彼女は口の中に二本の糸をくわえることで唾まみれにしながら何とか成功し、やがて裁縫、編み物、刺繍と幅を広げていきました。もしもここで母が久子の全て身の回りのことを手伝っていたら到底こんなことはできることではなく、本人はいつまでも不平不満を母親にぶつけて長生きしていなかったのではないでしょう。久子は後に回顧して、

「私を救ったものは手足の無い私の体、この逆境こそ感謝すべき私の師でありました。」と述べています。私の子供がもし怪我でもしたら、そこそ直るまで至れり尽くせりの世話をしている姿を想像します。

また寝たきりの中でキリスト教の信仰に生きる座古愛子に会って、彼女から『生かされている』事に気づかされ「自分よりもっと辛い運命を背負いながら誰一人恨むどころか感謝の日々をおくっているひとがいる。」と言っています。

手足の無い不自由な体の彼女が相手を思いやる心をもつことができるこの愛情をどうやって身に付けることができたでしょう。またどんな状況に置かれても諦めず絶対により通す意思のつよさは誰に教わったのでしょうか。

私を含め保護者の皆さま、中村久子の生き様を習い自らの姿勢を正すと共に、子供たちの鏡となるように今から精進してまいります。

「どんなところにも生かされていく道がある。すなわち人生に絶望なし、いかなる人生にも決して絶望は無い。やればできる。」



## 子どものことを むずかしく考えすぎていませんか？

校長 中村 清志

子供のことで親にながでできるかというところ、結局のところそれは「ほんの少しばかりのこと」という他はありません。

「キー・ワードは無力」といつてもいいのではないでしようか？

うまれて来る子の性別も選べない。

容姿も頭のよさも性格も健康も、あるがままに受けとめるしかない。

その上で「親ができること」をさぐりさぐり、なんとか一緒に生きて行く。

その一緒の歳月では無論、親は子供に影響をあたえるけれど、その影響の大半は意識的な「子育て」によるものではなく、親の「存在」が避けようもなくあたえてしまう影響だということように思います。

(中略)

うまれて来たときから子供は他ならない「その子」です。

他の子と交換可能な個性のない存在ではありません。

決して思うような絵など描かせてくれません。放任主義かスバルタ教育か、などという呑気な二元論を簡単にふきとばす存在です。教育次第だと思ったり、子供がいけないのはなにもかも親のせいのように思うのは、傲慢です。

親ができることは「ほんの少しばかりのこと」です。

親の力の限界を知り、その中でどう生きるかというのが、子供との関係の基本だと思います。

(山田太一「親ができるのは「ほんの少しばかり」のこと

PHP研究所)

人の言葉を借りて、あたかも自分の考えのように言うのも何ですが、このことがまず言いたかったことです。

子どもは所詮子どもだし、親も所詮親です。

子どもは子ども以上でもそれ以下でもない、親も親以上でもそれ以下でもない。

そんなふうを考えれば、親子関係のことについてのあれこれを、あんまりむずかしく考えない方がいいのではないかと思われてきます。

吉原幸子が「あたらしいのちに」という詩を書いてます。

冒頭の数行を引用します。

おまへにあげよう

ゆるしておくれ

こんなに痛いいのちを

それでも おまへにあげたい

いのちの すばらしい痛さを (後略)

私たちは親としては、子どもに「痛いいのち」しか与えなかった。

もし、そうなら、子どもたちが痛がるのを承知で育てるしかないでしょう。

そんなふうを考えれば、子どもとの関わりも今とは別の在り方が生まれるように思われます。

小説家・太宰治には石原美知子という妻がいました。

二人の間に生まれた娘が、小説家の津島祐子です。

小説家・太宰治と太田静子との間に生まれた娘は、小説家の太田治子です。

その太田治子が、「明るい方へ」父・太宰治と母・太田静子（朝日新聞出版）という本を、

今年の九月に出しました。

その中にこんな一説があります。

二月の末に太宰が伊豆に出発すると、母は毎日何度も二階の洋間の窓をあけて彼の名前を呼んだという。

窓の向こうには海が拡がり、その先には太宰のいる伊豆の山が夢のように浮かんでみえた。

(中略)

太宰がいなくなつてからの下曽我の海は、毎日真珠のようにくもつてみえた。

「病める貝殻にのみ真珠は宿る」というレール・モントフの詩の一節があるんだ」

下曽我へ着いた晩に太宰はそういつて、彼女に大粒の真珠をプレゼントした。

それはあまりにも大き過ぎて、イミテーションのように思われた。

いずれにしても、母はそんなにうれしくなかつたという。

真珠は、あまり好きな石ではなかつた。更にレール・モントフの詩を思い出すと、真珠は

太宰の苦悩の結晶のように思われてきてみつめるのがくるしくなつた。

子どもたちは、さまざまな家庭環境の中から朝になると東高にやって来て、日が暮れると東高から帰って行きます。

東高にやって来れば、誰も、そんな家庭のあれこれの色合いはほとんど無色化して、「東高生」として、生きるしかありませんし、周りもそういう目でしか見ないものです。

また、そうでなければ、当人は生きてはいられないと思うでしょう。

親は親であると同時に女であり、男であり、職場の人であり、地域の一人であり、そもそも一人の人間として、自分の人生を生きています。

太田治子はあのような家庭から高校に通っていたのです。

「病める貝殻にのみ真珠は宿る」という言葉は、案外、勇気をくれる言葉かもしれませぬ。

悩める親にこそ、真珠の子どもが育つのだと、そんなふうを考えることができるのなら、親が人として悩む姿が、「図らずも」という在り方で、子どもを育てるのだと思います。

「最近の子どもは昔とずいぶん変わってしまったって、どう接していいかわからない。」などと言う人がよくありますが、私に言わせてもらおうなら、その本質的なところはほとんど変わっていないというのが私の実感です。

現に、東高でも、かつて私が担任した人や、授業で教えた人が、保護者として、私の前にたち現れて、私を慌てさせることがあります。並んだ親子ともごももの話をしてみると、三十年の隔たりがいささかも感じられないのが実感です。

学校では、教職員に生徒と向き合うようにと言いつつ、家庭では、向き合うのではなく、同じ方向を向いて肩を並べるのが好ましい立ち位置のような気がします。

## 特集

# 「部活動と高校生活」

今回の特集では96%（二年生）という加入率の部活動で何を感じているかを知るために、各部長と保護者の方に原稿を寄せていただきました。

## 出会えて良かった

女子バレー部 赤山 栄美佳

私にとって部活は自分自身を大きく成長させてくれたのだと感じています。辛いことのほうが多かったですが、バレーのことで悩めるということはすごく幸せなことだったと思います。多くの遠征・大会を経験する度に「このチームでバレーをすることが出来て良かった」と感じ、どんな苦しい時でも応援して下さる保護者の方々、チームのみんなの為に頑張ることができました。また保護者の方々も含め、みんなの笑顔がいつも心の支えとなっていました。

三年間を通して後悔することもたくさんありますが、何より嬉しかったのはチームに関わる全ての人と出会えたことです。部活の事だけでなく何でも相談できたのはチームのみんなでした。この二年間は私にとって大きな宝物になりました。本

当に感謝の気持ちでいっぱいです。

## 感謝の日々

保護者 赤山 浩

高校では部活動はしないと云っていた娘が東高に入学し、バレー部に入部。小学生から始めたバレーは生活の一部でありやはり高校三年間バレー無しは生活は考えられなかったのでしょうか。しかし、小・中学校と違い通学時間の長さ、練習の厳しさ、そして勉強との両立。学校から帰り部屋の机でうたた寝をしている姿を見る度に三年間やっていけるのだろうかと心配する日々でした。三年間最後までやり遂げたことは本人の頑張りはもちろんですが、ご指導して頂いた先生、そして共に励まし合い支えてもらった先輩・後輩・チームメイトのおかげです。

部活動を通じて人間的に大きく成長でき、これからの人生の糧になる貴重な経験ができたと思います。出会い・感動皆様に感謝しております。ありがとうございました。



## 充実した三年間

男子バスケットボール部 野々村 隆

東高に入学してから三年間、朝七時に体育館に来て、夜八時に体育館を出るといふ生活を送った。

みんなで決めた「インターハイベスト8」という目標に向かって、毎日の練習は厳しいものだった。ただ、振り返ってみると毎日の朝練や部活は楽しくてしかなかった。

目標は達成できなかったが、熱心に指導して下さった顧問の先生方をはじめ、大会にはいつも応援に来て下さった保護者の方々、応援や励ましの声を掛けてくださった先生方や友人など、すべての人たちに感謝したい。本当にありがとうございます。

ありがとう！

東高バスケットボール部

保護者 野々村 浩子

思い起こせば、夫の単身赴任により高一の時は、息子と私の二人暮らしでした。夕飯時には、毎日部活動の様子を話してくれて、それを聞くのが私の楽しみでした。

東高のバスケットボール部は、部員みんなが仲が良く、大会ではチーム一丸となって戦う姿は他校に負けません。

熱心に御指導いただいた監督、ともに励ましあ

ったたくさんの部員に出会えて、息子は、充実した高校生活を送ることができました。本当に有難うございました。

## 高校生活の支え

女子バスケットボール部 三 阪 真 理

私の高校生活はほとんどが部活でした。一日がバスケットで始まりバスケットで終わる、その繰り返しでした。途中、すごく苦しくて辛い時期もありました。でも、チーム内で決めた目標のため、自分のためであったからこそ乗り越えることができました。

周りには、チームメイトや顧問の先生、先輩、学校の友達、自分の親。私はたくさんの方々を支えられて自分の好きなバスケットを続けられました。感謝の気持ちでいっぱいです。

決して私一人では自分らしい高校生活を送ることができなかったと思います。

## バスケットをするのは娘

保護者 三 阪 和 栄

バスケットと勉強を両立することを約束し、この東高に入学しました。

キャプテンに選ばれ、試合に勝つことはもちろんですが、どうすれば良いチームになるのだろうと日々悩み、苦しんでいました。そんな娘のそば

で話を聞くことと、食事作り、見守ることが親としてのサポートでした。

娘がバスケットを通してたくさんの人と出会い、学校の授業や家庭で教えることの出来ないことを学ばせていただき感謝いたします。ありがとうございます。

## 自分のテニス

男子テニス部 錦 織 伊 吹

僕にとってテニスとは、本当になければならぬものです。1・2年の時はその思いだけでひたすらテニスに打ち込んできました。少しでも上手くないかなんかがあると、むきになり考えもせずただ打っているだけだったので、どんどん悪い方に向かっていくばかりでした。

しかし、キャプテンを務めることが決まっからは、1・2年時のような勝手なことをしていない場合ではなく、周りを見て様々なことを考えながら部活に取り組まなくてはなりません。そうしていくうちに、強くなりたいと今までがむしろにやってきたテニスに少し余裕ができたのか、リラックスして楽しんでできるテニスに変わっていききました。楽しんで打っていると、悪かったことも改善されていき、前よりも少しいいプレーができ、更にいい考えを持って打てるようになったと思います。

高校生活で自分が取り組んできたテニスはプレーも心も成長させてくれました。

僕は死ぬまでテニスをするつもりなので、最期まで成長し続けたいです。

## 息子のサポーター

保護者 錦 織 昌 明

東高男子テニス部は近隣高校に比して極めて少人数の部でした。硬式テニスは特にジュニアからの経験者が上位を占めるスポーツで、そこに「一矢を報いたい」のが息子のチャレンジでした。

一年の時、荒削りながらパワーのある一発屋が暴れて強敵北高の上級生に圧勝してしまいました。なかなかやるな！・・・しかし、勝負の怖さはここから始まったのでした。テニスの奥深さ、繊細さに彼は翻弄されるのでした。悩みました、闇雲に球を打ち込みました。しかし、下位ランク相手に度重なる敗戦・・・敗戦・・・。

2年の時、依然として成果は芳しくありません。そして3年になり今まで頼りにしていた「先輩たち」が卒業して白らが最上級生になってから変わってきました。プレースタイルに余裕みたくないものが出だし「パワーのある一発屋」は「テニスを楽しめる高校生」に成長したように見えました。中学ソフトテニスからのダブルスペアが組み合つて、あのジュニア経験者たちに本当に一矢を報いることができちゃいました。

高校総体県予選・・・私たちサポーターにとつて歓喜の瞬間でした。

増えた部員の皆様にも「情熱」を絶やさずに頑張

っていたみたいです。

## 「感謝」と「仲間」

ソフトテニス部 荒 木 駿

自分はソフトテニスが好きで、東高のソフトテニス部を活気づけてやろうという気持ちで入部しました。

部活で学んだことはたくさんありますが、特に学んだのは「感謝」と「仲間」の大切さです。

キャプテンを始め、後輩も入り、いろいろ悩んでいたとき先生やチームメイトに相談に乗ってもらったりと、いろんな人に支えてもらいました。そのおかげで乗り越えることができ、「仲間」というのはとても大切なものだと思います。そして「感謝」です。

部活について指導してくださった顧問の先生や外部コーチの方や他校の先生方、現地に送り迎えをしてくれる保護者の方、その他にもいろんなこととお世話になっていることに気づき「感謝」することで思いやることができるようになりました。

ソフトテニス部の活動を通して自分は顧問の先生、チームメイト、他の先生方、保護者の方、外部コーチとたくさんの人に応援してもらい、とても幸せでした。本当に感謝しています。そして、部活でつちかった精神力と支えてくださった人たちの感謝を忘れずにこれからがんばっていきたいと思います。

## 部活を通して

保護者 荒 木 千 浪

三年生の先輩方が引退された後、いきなり一年生七人のスタートとなりました。

少ない人数の中やりたい練習メニューにも限りがあったようです。一年後には、下級生もたくさん入り、練習はもちろん部室での話も盛り上がりつつあったようです。後輩もでき、わが子も、一年生でなるしかなかったキャプテンの自覚も芽生え、責任という重みをひしひしと感じながら頑張っていました。先生方やチームメイトに支えられ、無事務められた事、とてもうれしく思います。

本当にソフトテニス部は、多くの先生方に助けられ活動してきました。また、ソフトテニスを通じて、沢山のひととの関わりができました。感謝することので深い思いやりに気づき、一生懸命にやる事で、すばらしい出会いになったりと、少しずつ、生きる姿勢を学んだのだと思います。

親も子供のおかげで、保護者の方々と知り合ったり、一体になり応援したり、多くの感動をもらったりと、楽しませてもらいました。

これからもソフトテニス部のご活動を祈っています。

## キャプテンという大役

女子ソフトテニス部 山本 衣里

私は1年間キャプテンをやってきて様々な面で成長できたと思います。

精神的に弱かった私にキャプテンが務まるのか本当に不安でした。でも困っている時には仲間や顧問の先生からの助けがあり、最後までキャプテンという大役をやり遂げることができました。

キャプテンというのはとても貴重な経験だと思います。最初は不安でしたが、今ではこのような経験ができたことを誇りに思っています。この経験ができたことに感謝し、今後の人生に活かしていきたいです。

## 悪いことではない

保護者 山本 初恵

高校に入学して、子供から部活すると言った時、正直反対でした。理由は言うまでもなく部活動と勉強の両立が出来るか、部活動に熱中しすぎて勉強する時間がおろそかになってしまうことです。しかし、3年間ソフトテニスに打ち込み、好きなものをとことん追求し、上を目指し頑張っている姿を見て、決していけないわけではなく、部活は貴重な経験だったと思います。体力も精神力もついて社会に出た時にも役立つと思います。

## 部活動を通して

サッカー部 三上 太平

最後の総体が終わったときは、信じられない思いでした。

最初はなかなか勝てませんでした。そこから苦勞に苦勞を重ね、部員が少なくなりながらも、僕たちはチームとして成長してきました。だから、「もうこのチームでサッカーができない」という事実は、僕にとつて受け入れがたいものでした。

結局、目標だった県大会優勝は果たせませんでした。でも、このチームで戦えたことは、とても価値のあることだと思います。僕にとつて東高サッカー部は最高のチームでした。できることなら、またこのチームでサッカーがしたいです。

## サッカーを通して得たもの

保護者 三上 智子

人の前に立つことは苦手だと思っていた息子がキャプテンを引き受けた時、何か自分の壁を乗り越えようとしているように感じ、心配を上回るうれしさがありました。しかし、勉強との両立や、部員の士気を高めまとめていく難しさに、口には出さない苦勞もあつたようです。それでも、最後まで全力でやりきれたのは、「東高サッカー部を強くしたい」という彼の信念と、同じ思いで励ましあえた最高の仲間たちがいたからこそだと思

ます。サッカー部のみんなのひたむきな姿を応援することは、私たち親の楽しみでもありました。支えてくださった先生方、本当にありがとうございます。ありがとうございました。サッカー部で得たものが、これから歩む道で大きな力になってくれると信じています。

## 部活で得たもの

女子バドミントン部 佐藤 奈々

私は、部活を通してかけがえのない「仲間」を得ました。

バドミントン部は一年の終わりに廃部になりかけ、また、キャプテンを決める時なかなか決まらず最終的に私になり、不安になったのをよく覚えています。

そんな中でも、たくさんの後輩が入ってきてくれ、同年の仲間も協力してくれ、そして先生方の支えもあり、三年間無事に部活動ができたように思います。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

## 部活動を通して

保護者 佐藤 京

バドミントン部が廃部になる。部活と勉強との両立がうまくできていないこの時期に、娘のショックの大きさに戸惑いを感じ



つ、これで諦めがつき少しは勉強に勤しむことができるだろうと、変に安心したことが思い出されず。

娘達の、部の存続への情熱が伝わったのか廃部とはならず、いつそう部活動に励む込むことができたことは、応援して下さった先生および皆さんのおかげと、感謝しなければなりません。

大会では、芳しい成績を残すことはできなかつたが、みんなと部の伝統を守り、後輩に引継ぎできたことを誇りに、貴重な時間をみんなと部活に費やした情熱をいつまでも忘れないでいてほしいと思います。

## 部活を終えて

アーチェリー部 大西航平

アーチェリー部に入つて本当に多くのものを学びました。特に感じるのは、支えてくれる人のいるありがたさです。よい記録が出ずに悩んでいたとき、部長となり、部員をまとめきれずにいらしていた時、それが原因で体調を崩したこともありましたが、そんな時、話を聞いてくれる友人のいるだけありがたかったことか。本当に感謝しています。短い間でしたが、頼りない部長についてきてくれたみんな、本当にありがとう。

## 部活で得たもの

保護者 大西克明

続けていけるのか心配しながら見守つた一年生の春。次第にアーチェリーの魅力に惹かれていくのがわかりました。スコアが上がらないときも客観的に分析する息子の言葉に、知らぬ間に成長している我が子に驚かされることもありました。部長として迎えた昇格体。前半に大差をつけられ、諦めてしまふような展開で、大逆転でのインターハイ出場。何事も最後まで諦めない強い心を得たと思います。これからの人生に於いてきつと良い経験となったことでしょう。アーチェリーの先生方、そして良き仲間感謝致します。

## 高校生活と部活動

男子ハンドボール部 渡部稜太

僕は、高校生活と部活動を通して三つのことを学びました。

一つ目は、僕は、初め部長がしっかり出来るか心配で辛かったですが、仲間に支えられてやり遂げることが出来ました。

二つ目は、一年生の時からコツコツ勉強しとけばよかったと、今すぐ後悔しています。

三つ目は、「インターハイ出場」という目標で部活をやってきました。目標があることで一生懸命になれました。

この三つの学んだことを胸に、残り少ない高校生活を過ごしていきたいと思います。

## 部活動から得たもの

保護者 渡部明

月日がすぎるのは早いもので、先日入学し、部活を始めたと思つていたのですが、気がつけば「あつ」という間に三年間の部活動が終わつてしまい、私と同様に、少し寂しい気がしている保護者の方もいらっしゃるのではないかと思います。

部活動を通して得たものとして、三年間途中で投げ出すことなく部活をやり通したこと、それによって「仲間」・「信頼」・「継続力」を身に付けたのではないのでしょうか。

これから子供たちには様々な事が待ち受けている事と思いますが、今後も何らかの形でスポーツに携わり、部活動を通して培った強い心で困難に立ち向かい、自分の未来を切り開いて進んでくれる事を期待しています。

## ハンドボール

女子ハンドボール部 久保田 恭子

私達は一つ上の先輩がいなくて、2年間ずっと同じメンバーでインターハイ出場を目指して練習をしてきました。念願のインターハイにはいけませんでしたが、私達の最後の試合は今までにない

くらいとても楽しかったです。

これまでハンドが出来たのもハンド部の皆や外部コーチ、顧問の先生方や親のおかげです。本当にありがとうございます。

## 人のつながり

保護者 久保田 厚子

入学式にハンドボールをすることを決め3年生が3人ということもあり次の日から練習に遠征が始まり、2ヶ月後の総体では同好会を立ち上げた3年生の最後の試合でもあり本当に勝ちたいの思いで一丸となり初めて1勝することができ、感動でした。

先輩から引継ぎ1年生7人でスタートし、一試合ごとに色々な経験をした後輩も入部してくれ、いい仲間やコーチ、先生方や保護者に恵まれ人との繋がりの大切さを親子共々実感しました。

今年度より同好会から部の仲間に入れてもらいありがとうございます。ハンドボール部が繋がっていきますようお願いしています。

## 部活動から得られたもの

卓球部 村井 孝法

高校生活の中で、部活動は大きな割合を占めるものとなる。そして当然のことながら、部活動に入れば勉強とも両立する必要がある。確かにそれ

は大変ではあった。しかし私は、部活動が勉強に勤しむうえでの絆しとなったとは思っていない。むしろ漫然と過ごすことなく、メリハリをもって生活できたと思う。また、勉強からは学び得ない多くのことを学んだ。中でも人をまとめることの大変さはその最たるものである。部活動を通じて得たもの全てが、これから社会人として生きるうえで糧となるであろう。

## 親と子の部活

保護者 村井 孝幸

三年間、部活動ご苦労様でした。彼は小学生の頃、椎間板ヘルニアになり、親としては運動部への入部はあまり好ましくなかった。しかし、彼は中学三年間と高校三年間の、計六年間を通じて卓球を続けた。続けたということからは大いに得るものがあると思う。親として大会に応援に行くこともなく、今思えば、それが少し残念に思われる。苦しかった事、つらかった事、楽しかった事、チームワーク、それらは大学生や社会人になるうえで向上心や心の糧となることであろう。

## 他者をまとめていくことの責任

陸上競技部 三和 健太

部活動に限らず、人をまとめることの難しさを知る、そんな一年になりました。部活動での世代

交代の際にキャプテンとなってチームをまとめていくと、今まで自分が普通に部活をしてきたときとはまた違った光景が見えてきて、全体をまとめていくことがいかに大変かを知りました。上の側の立場に立つことの責任の重さを実感し、日頃の生活から大会のときまでチームのことも考えなければならなくて嫌になるような時期もありました。それでも部活を通して、かけがえのない思い出と一生もののすばらしい経験ができたと思っています。

## 陸上を通して得たもの

保護者 三和 浩子

高校の3年間は、勉強・スポーツ・人間関係など一生の基礎を作る期間です。その大事な時期に、陸上に打ち込むことができたのは、とても幸せなことです。陸上を通して、チームメイトのことを考えたり、自分で進んで取り組もうとしたりする姿が見られるようになりました。親である私たちも試合を見に行き、大いに楽しませてもらいました。支えてくださった皆さんのことを忘れずに、これからも陸上を続けていってほしいと願っています。

## ボートと自分

ボート部 星野雄貴

僕の高校生活は本当にボートと一緒に歩んできたものでした。ボートを通じていろいろな人と関わる事が出来て、たくさんの方達も出来て本当に楽しかったです。また、遠征や合宿で協調性も身に付ける事が出来、とても充実したものだと思いました。練習はきつかったけど、みんながいたから乗り切れました。お世話になった方々に感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

## ローイングで見つけたもの

保護者 星野久美子

「東高に合格したら絶対にボート部に入る」と言っていたのがついこの間の事のようにです。好きな事をしていくから、大変じゃないよ」と毎朝学校へ行くのを見送った三年間でした。

ボートはよく単純なスポーツと言われる。単純がゆえにそれを継続する事が、どんなに大変で目標を成し遂げる為に、それが大きなものであればある程、努力や協調性が不可欠だと思います。たくさん悩み苦しんだ経験は自分をきつと大きくしてくれた筈。最後のレースの後で、「三年間続ける事ができたのは、多くの人の支えがあったから」と素直に言える程成長していたのです。応援し

ていたつもりが、いつの間にか元氣や勇氣をもらっていたのは、私の方でした。

## 高校生活と部活動

野球部 竹谷亮祐

入学してから引退するまで高校生活はほとんど部活中心でした。しかし、部活をしたことにより様々な個性をもった多くの仲間ができました。自分ができること、しないようなことを無造作にやっつてのける人もいて、驚くこともありましたが、主将である自分に代わって色々なところでチームを統率してくれて大変助けられました。

二年と少しの間ではありましたが勉強に励んでいただけでは絶対にできなかった経験ができ、またたくさん学べたことができて高校生活は部活と言えらるくらい大きな財産を得ることができました。

## 親として

保護者 竹谷てるみ

野球と勉強を両立するための知恵を学び、ささえてもらった仲間、先生、家族、応援して下さった方に対する感謝の心を学び、本当にたくさんの事を学んだ様に思います。

親である私も保護者の方にいろいろな面で助けてもらったり、励ましてもらったりして本当に感謝！感謝！感謝です。

息子が野球を続けてくれたおかげで、野球大好き少女だった頃を思い出し、おっかけ気分でも楽しい二年ちよつとを過ごすことができました。

## 高校生活と弓道

弓道部 作野佳苗

私は高校に入ったら新しいことをやってみたくて考えていたので弓道部に入りました。きっかけはそんな些細なことでしたが、私は弓道を通していつも中途半端だった自分を変えることができました。と思います。部長を務めたこともひとつですが、なにより励ましあい、支えてくれる仲間がいたからこそできたことだと思います。そして、そんな仲間たちと過ごした二年間は本当に楽しかったです。

弓道は私にたくさんのお話を学ばせてくれました。弓道や部活の仲間、そして熱心に指導してくださった先生方のおかげで充実した高校生活を送ることができました。

「ありがとうございました。」

## 部活で得たもの

保護者 作野宏喜

「三年間続くのかなあ」という気持ちが入部当

初の率直な思いでした。ところが、その不安に反して最後には部長まで務め、部活動を終えることができました。本当によく頑張ったと思います。あらためて見直しました。

送り迎えの車の中で時には悩んでいる様子も見受けられましたが、自らが選び、良き友や先生方に支えられ頑張つて歩んできた弓道部の経験は、きつと人生の大きな糧となったと思います。

「仕事をするようになったら、また弓道をやりたい。」という言葉が、意義のある三年間を物語っているといます。

## 二年余りを振り返って

水泳部 三代 宗雄

僕は水泳部にいたことで、貴重な体験ができたと思つている。少なくとも部員に用事を聞きまわつて、週ごとの練習予定を決めていた運動部など、そうはないだろう。スイミングに通つていない面々はどうにか集まり、総合体育館のプールで練習をする。大会が近づくと同度を上げ下げして本番に向け体調を整えた。そして本番で目標を達成できるように日々をすごした。

この繰り返しだったが、個性的な面々と共に泳ぐことができ、充実した部活動生活を送ることができたと思つている。

## 部活動と高校生活

保護者 三代 洋士

同好会かサークルと言つた方がいい程度の小さな部ではありました。それでも自分たちでスケジュールを調整し、トレーニングのプログラムを組んで自主的に練習に取り組むことは、学校の授業だけでは得ることのできない貴重な体験だったと思います。

子供達の思いつきや気まぐれにも真剣に向き合つてくださった先生方と、いっしょになって活動してくれた仲間達に心より感謝したいと思ひます。ありがとうございます。

## 部活と仲間

合唱部 目次 真希子

高校三年生になつて私は不安とあせりでいっぱいになりました。一・二年の時には出来ていた勉強との両立も、三年になると難しさをまし、周りが引退して受験に専念していくなかで、私は普段の予習や課題もままならない状態でした。しかし、部活の仲間と一緒に本気で笑つたり泣いたりしたことはそんな気持ちも吹き飛ばして私に前向きになる勇気をくれました。最後の最後までその仲間たちと歌えたことは、私の一生の励みになると思ひます。

## 合唱という名の宝物

保護者 目次 陽一

小学校四年生から続けている「合唱」を高校でも部活として選んだ娘。東高の合唱部は伝統があり、中国大会の常連校で頑張れば全国大会へも行けると聞き、とても張り切つて部活に没頭していました。その甲斐あつて一年生の時に全国大会も経験、二年生では「部長」という大役を任せられ、皆様の協力のもと合唱部をまとめ、三年生も一生懸命取り組んできました。この三年間の貴重な体験を自分の財産・宝物としてこれからの人生を歩んでいってほしいと思ひます。

## 一生の思い出

吹奏楽部 松本 菜摘

三年間、松江東高校で吹奏楽ができて本当によかつたです。正直、辛い思いや悔しい思いをたくさんしました。それでも今、振り返つてみてよかつたと思えるのは、部活動を通してたくさんの方とを得ることができたからだと思います。

自分の頼りなさに悩んだときもありましたが、部長になつて、いつも支えてくれる仲間や先生、友達や家族の存在に改めて気づくことができました。

松江東プラスで本当によかつた！ 大好きな吹奏楽をみんなとできて本当に幸せでした。

三年間支えてくださった方々、本当にありがとうございます。うございました。

## 大切な宝物

保護者 松本 美和子

目標は中国大会、そして普門館。その目標に向かって、毎日厳しい練習を頑張っていました。出雲の県大会では、素晴らしい演奏をしてくれて、みんなやりきったと思いました。ところが、審査結果はまさかの銀賞。あまりのショックに三年生は立ちすくみ、動くことが出来ません。あの時の光景が、目に焼きついて離れません。可哀想でしたが、この事がこの子達が成長していく上で、必ずプラスになっていくと思います。

そして、頼りない部長をご指導いただきました先生、ついてきてくれた部員みなさん、なによりも、一緒に頑張り支えてくれた三年生みなさん、ありがとうございます。葉摘にとって、大切な宝物が出来たと思います。

## 気付いた

弦楽部 吉岡 恵

当時、私は部長として先頭に立って部をまとめたいかなければならない、という思いから人に頼ることがなかなかできませんでした。その負担から役目を投げ出したくなることもありました。し

かし、部の仲間や家族、先生方の支えによって私は役目をまっとうすることができました。私は周囲の支えがあったからこそ、頑張れたのです。特に、部の仲間には感謝していますし、私にとって大切な存在となりました。

私達は、これから一人一人の進路に向かって進んでいきます。漠然として不安だらけの将来だとしても、「誰かが見守ってくれている」だけで、前に進む勇気が湧くはずです。私はそう信じています。

## 貴重な体験

保護者 吉岡 育子

娘から馴染みのない弦楽器を始めると聴かされたときはたいへん驚きました。しかし先輩方と毎日熱心に練習を重ねていき、演奏会の度にすばらしい演奏ができるようになり、いつも感動させてもらいました。

部活動のおかげで、数々の楽曲が弾けるようになった事やオーケストラで演奏ができた事、たくさんの方に感動を与えられた事、そして部長としていろいろな思いや苦労があった事などたくさん貴重な経験ができたと思います。

御指導いただいた先生方、ご協力いただいた方々に御礼申し上げます。

## ブロードキヤスト

放送部 伊藤 綾香

高校からは何か新しいことを始めたいと思い、思い切って入部しました。入部当初はなんとなく過ごす日々が多かったです。しかし、自分たちで作品を作るようになってからは、喜びも悔しさも感じ、毎日が大切なものとなりました。中でも、全国大会で得たものは計り知れません。

この三年間、たくさんの人に支えられてきました。今の自分があるのは先輩方や後輩たち、先生、両親、そして三年生部員がいたおかげです。本当にありがとうございます。

## 部活動で得たもの

保護者 伊藤 千智

部活動を通じて最も成長したことは、子供たちが悩みながら同じ目標に向かうことで強い精神力が身につけてきたことです。親としては暖かく見守ること位しかできませんでしたが、本人が自分で考え行動していく姿を見て、成長を感じる事ができました。また、お互いの考えを素直に言い、共に喜び合える友人が得られたことは、最高の財産であると思います。部活動で得た貴重な経験をこれからの人生の中で活かしてほしいと願っています。

感謝の気持ちでいっぱいです！

感謝

JRC部を通して息子の成長

ESS部 久保 真里子

保護者 児 玉 理 恵

保護者 立 脇 雅 子

ESS部では週に一度英語を使って様々な活動をしました。英語が通じず悔しい思いもたくさんしました。でもその分、会話がかみ合った時の感動は今でも忘れられません。それも私を粘り強く指導し助けてくれたALTの先生方や一緒に活動してくれた部員のおかげです。ありがとうございます。この部活を通じて人と話すことの素晴らしさを改めて実感しました。

仲間

書道部 児 玉 千 佳

とりあえずJRC部

JRC部 立 脇 晋 平

三年間の書道部の活動を振り返って娘は部員みんなへの感謝の気持ちを強く持ったようです。一年生の時は総文祭に参加、そして二年生の夏には部長になり、みんなをまとめるのにひとりではできないもどかしさと、いろいろな異なる意見に直面して悩みを持ったのでしょう。でも肝心な踏ん張り時には皆が助け合い、ひとつにまとまり、作品を作るのに個人の努力ばかりではなく部員全員、そして先生方のお力添えがあつてこそ、感謝の気持ちが生きていく上でどれだけ大切かということに気づいたのだと思います。

二年の初め息子がJRC部に入ると急に言い出し、私は「どうしてこの子が急に文化部に」と思いました。そして息子がJRC部に入って数ヶ月、息子は家に帰るとよく「今は校内募金をしている、今度は車で募金をする」と部活の話をしており、それを聞きJRC部での活動が楽しいのだなと感じました。それとともに募金活動を通して様々なことを学び、そして成長しているのだなと感じました。このJRC部で得たものを今後の人生で活かしていくことを期待しています。

BBBプロジェクトの成果

文芸同好会 中西 絵里奈

私にとって、この高校生活で部活動の仲間たちはとても大きな存在です。楽しいときはみんなで笑い合つて、苦しいときはみんなで乗り越えてきた日々が一生の宝物です。私の不注意で先生からお叱りを受けたり、みんなに迷惑を掛けたことがたくさんあったけど、そんな時いつも仲間たちが隣にいて一緒に泣いてくれたり、支えてくれたから部長をやり遂げることが出来たのだと思います。

部員のみんな、顧問の先生、保護者の方々、本当にありがとうございます。

私は二年生からJRC部に入りました。入った理由としては、とりあえず何か部活に入ろうと思いい、楽そうでちよつと楽しそうなJRC部に入りました。実際に入ってみると普段はあまりすることがなく楽でしたが、募金活動などがあると正直楽ではなかったです。ですが苦でもなかったです。なぜならやってみるととても楽しく充実したものでなったからです。JRC部では沢山のことを得ることができたと思います。今思えばとりあえずJRC部に入つてとてもよかったです。

文芸同好会の良さは、自由な所だと思う。主な活動は小説、詩、短歌、俳句の個人創作なので、本当は集まる必要はない。それなのに、私たちはよく集まっていた。ただ話して終わることも多かったけれど、文芸が好きな人が集まるだけでとても楽しかった。

私たちの代は、「文芸同好会」の知名度を上げるために活動していたが、先輩たちは自分の作品を見せ合うために集まっている。

そんな風に、これからも自由に変わっていく文芸同好会であってほしい。

三年間顧問をしてくださった竹並先生、先輩方、後輩のみんな、そして一緒に入部してくれたばかりおん、本当にありがとうございます。



# 平成21年度前期部活

各部活結果一覧（8月31日まで）

島根県高校総体男女総合5位

## 陸上競技

県総体

男子

1500M：安達健太8位

走幅跳：勝田聖矢8位

三段跳：勝田聖矢6位

女子

1500M：板持来実6位

3000M：板持来実7位

やり投げ：山田佳苗1位

やり投げ：青戸彩夏4位

中国大会

やり投げ：山田佳苗7位

## 柔道

中国県予選

個人 男子 予選敗退

県総体

個人 男子 予選敗退

女子 予選敗退

## 剣道

県総体

団体 男子 二回戦 4対1 平田 勝ち

三回戦 3対1 横田 勝ち  
準決勝 1対4 大社 負け  
※ベスト4

個人 女子 二回戦 0対0 大社（代表負け）  
個人 男子 石橋俊之・飯塚由宇（ベスト16）  
女子 緒戦敗退

## 弓道

県総体

団体 男子 2位

女子 予選敗退

個人 男子 野田 大輔、上山 裕太  
（決勝戦進出）

女子 貞宗 結月  
（決勝戦進出）

## サッカー

団体 男子

1回戦 1対0 松江南  
2回戦 0対0 出雲商業

（PK 4対3）

3回戦 0対2 益田

## アーチェリー

県総体

団体 男子 1位

女子 1位

（いずれもインターハイ出場）

個人 男子 伊藤壮太郎 1位

女子 中尾史絵 1位

矢田 歩 2位

三村佳穂 3位

全国高校総体

団体 男子 28位

女子 37位

個人 男子 伊藤壮太郎 決勝進出 62位

大西 航平 138位

吉岡 大貴 170位

内田 直輝 220位

中尾 史絵 94位

三村 佳穂 142位

矢田 歩 181位

青木 夏海 208位

## バレーボール

県総体

男子 1回戦 2対0 隠岐島前

2回戦 0対2 松江南

女子 1回戦 2対0 飯南

2回戦 2対0 益田東

3回戦 2対1 益田翔陽

準決勝 0対2 安来 ※ 3位

## 水泳

男子 200m自由形 三代宗雄 5位

200m自由形 加藤誠也 7位

200m個人メドレー 横川淳 2位

400m個人メドレー 横川淳 2位

400mリレー 加藤・栗谷・佐々木・三代7位

800mリレー 横川・三代・加藤・栗谷6位

100m背泳ぎ 松本つばさ 1位

200m背泳ぎ 松本つばさ 2位

バドミントン

中国大会県予選

団体 女子 1対3 松江商

個人 女子 シングルス 鷺見冨果 (ベスト32)

女子ダブルス 鷺見冨果・福田楓

(ベスト16)

県総体

団体 女子 0対3 松徳学院

個人 女子 シングルス 鷺見冨果 (ベスト32)

テニス

県総体

団体 男子 2回戦 1対2 平田

女子 1回戦 1対2 益田翔陽

個人 女子 シングルス 安食みのり (ベスト8)

ボート

松江レガッタ

男子クォドルプル 永井・村田・近田・前島・加藤 予選敗退

男子ダブルスカル 星野・井川 予選敗退

男子シングルスカル 角森 予選敗退

女子ダブルスカル 長見・三谷 2位

女子シングルスカル 吉田 3位

朝日レガッタ

男子クォドルプル 永井・村田・角森・前島・加藤 予選敗退

男子ダブルスカル 星野・井川 準決勝進出

男子シングルスカル 近田 予選敗退

女子ダブルスカル 長見・三谷 準決勝進出

女子シングルスカル 吉田 予選敗退

県総体

男子クォドルプル 永井・村田・角森・前島・加藤 3位

男子ダブルスカル 星野・井川 3位

男子シングルスカル 田村 予選敗退

男子ダブルスカル 近田 予選敗退

女子ダブルスカル 長見・三谷 優勝

女子シングルスカル 吉田 優勝

中国高等学校ボート選手権大会

男子クォドルプル 永井・村田・角森・前島・加藤 予選敗退

男子ダブルスカル 星野・井川 5位

男子シングルスカル 近田 予選敗退

女子ダブルスカル 長見・三谷 優勝

女子シングルスカル 吉田 3位

国体島根県予選

男子シングルスカル 星野 2位

男子ダブルスカル 永井 予選敗退

男子シングルスカル 井川 予選敗退

国体中国予選

男子クォドルプル島根選抜(星野) 3位

女子ダブルスカル 長見・三谷 2位

女子シングルスカル 吉田 予選敗退

全国高校総体

女子ダブルスカル 長見・三谷 準々決勝進出

女子シングルスカル 吉田 準々決勝進出

ソフトテニス

山陰選手権

個人 男子 荒川崇・荒木駿組 二回戦敗退

個人 女子 種野友彦・藤原風組 二回戦敗退

県総体

個人 男子

荒川崇・荒木駿組

六回戦敗退(ベスト8)

朝原健輔・石川健太組 二回戦敗退

野津翔平・長子将士組 二回戦敗退

山本壮太・井上貴大組 二回戦敗退

個人 女子

山本衣里・木村真子組 二回戦敗退

松本千咲・原右彩組 二回戦敗退

塩田奈央子・光田あかね組 一回戦敗退

金森真子・信木友美組 一回戦敗退

福山美里・藤井香那組 一回戦敗退

団体 男子

一回戦 3-0 松江北

二回戦 0-3 松江南

団体 女子

一回戦 2-1 松江南

二回戦 0-2 出雲

国体予選(二次予選及び最終選考会)

個人 男子

長子雄士・吉松京介組 二回戦敗退

野津翔平・長子将士組 四回戦敗退

種野友彦・藤原風組

六回戦敗退(Bグループベスト8)

個人 女子

松本千咲・藤井香那組 三回戦敗退

金森真子・原右彩組 二回戦敗退

長谷川真帆・光田あかね組 二回戦敗退

塩田奈央子・池田歩美組 二回戦敗退

信木友美・若杉麻未組 二回戦敗退

中国大会

個人 荒川崇・荒木駿組 一回戦敗退

# 卓球

## 中国県予選

男子 団体 二回戦 0対3 平川

男子ダブルス 三回戦までで敗退

男子シングルス 三回戦までで敗退

女子 団体 二回戦 3対1 津和野

三回戦 0対3 大田

五位六位決定戦 3対0 松江南

女子ダブルス 三回戦までで敗退

女子シングルス 三回戦までで敗退

## 県総体

男子 団体 二回戦 3対2 隠岐

三回戦 0対3 松江商業

男子ダブルス 三回戦までで敗退

男子シングルス 三回戦までで敗退

女子 団体 二回戦 3対0 矢上

三回戦 0対3 松江農林

女子ダブルス 二回戦までで敗退

女子シングルス 三回戦までで敗退

## 国体県予選

男女個人戦 二回戦までで敗退

## 県一年生大会

男子 団体 松江東A 2対3 松江工業A

松江東B 0対3 松江西

男子シングルス 山口峻介 ベスト32

女子シングルス 吉岡奈美 ベスト8

## バスケット

### 県総体

男子 二回戦 89対64 松江高専

三回戦 86対47 松江南

準々決勝 88対51 出雲

## 準決勝

103対65 益田翔陽

決勝 100対67 出雲北陵

※ 第1位

女子 二回戦 94対32 松江市女

準々決勝 84対57 出雲北陵

準決勝 67対70 松江南

※ 第3位

## ハンドボール

### 県総体

男子 一回戦 7対25 江津

女子 準決勝 10対19 松江女子

3位決定戦 20対5 松江南

※ 総合3位

## 野球部

### 平成21年度東部地区予選

一回戦 11対1 松江高専

二回戦 7対4 松江農林

春季県大会 一回戦 11対1 出雲農林

準々決勝 0対3 立正大浜南

### 第九十一回全国高等学校野球選手権島根大会

一回戦 12対11 江津

二回戦 1対8 出雲商業

平成21年度島根県高等学校秋季野球大会

一次 1対20 開星

## 書道部

### 平成21年度高文連書道コンクール

特選 鳴尾 梓歩

秀作 北村 知菜

秀作 児玉 千佳

秀作 佐藤 友理

秀作 竹本奈名子

秀作 野津 愛里

秀作 吉木 郁恵

## 合唱部

### 第76回NHK全国学校音楽コンクール島根県コンクール

高等学校の部 金賞

### 第48回島根県合唱フェスティバル・コンクール

高等学校部門Aグループ 金賞

高等学校部門Bグループ 金賞

## 放送部

### 第45回県高等学校放送コンテスト

研究発表部門 優秀賞

テレビドキュメント部門 最優秀賞

創作ラジオドラマ部門 最優秀賞

ラジオドキュメント部門 優秀賞

朗読部門 5位 川上裕美

### 第56回NHK全国高等学校放送コンテスト

創作ラジオドラマ部門 準々決勝進出

ラジオドキュメント部門 準決勝進出

テレビドキュメント部門 準決勝進出

朗読部門 入選

研究発表部門 研究奨励賞

川上裕美 準々決勝進出

### 第33回全国高等学校総合文化祭

アナウンス部門 出場 廣江 藍

# 新任教職員

# 自己紹介

次の3項目に答える形で紹介します。

- ①自分を動物にたとえるなら何でしょうか。
- ②百万円の宝くじに当たったらどうしますか。
- ③東高の感想をお願いします。



教頭  
教科(数学)  
齋藤 雅典

- ①羊
- ②家族が喜びそうなことを計画します。残りがあれば貯金します。
- ③数年前と比較して、生徒も教職員も表情が明るくて優しくなったように感じます。これから学習面で厳しく自分を高める雰囲気が増すとさらに良いと思います。



教科(国語)  
富田 泰範

- ①マレー熊
- ②本棚が欲しいです。残りはすべて本とレコードにつきこみます。
- ③素直で穏やかな生徒が多いと感じています。日々はほんとうに慌ただしく過ぎていきますが、みなさんと接する時間のおかげで乗り切ることが出来ます。



教科(国語)  
山根 真弓

- ①ナマケモノ(動物にたとえるまでもなく、人間でも怠け者です)
- ②もったいなくて使えません。ただし5万円くらいは、本に使います。ちなみに定額給付金12000円はガソリン代と図書カードに化けました。
- ③2年前も東高にお世話になりました。当時の1年生が3年生になっていたので、その成長に驚



教科(国語)  
前田 智子

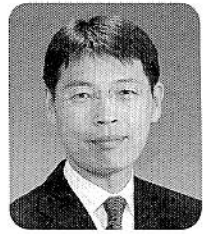
きました。自分では気づかないかもしれませんが、みなさんは体だけでなく心も着実に大人になっていきますよ！

- ①犬
- ②国内温泉旅行に使って、残りは貯金します。
- ③素直で頑張っている生徒が多いと思いました。もう少し、自主的に取り組むとまた違った世界が見えてくるかなと思います。



教科(数学)  
林 裕介

- ①コアラ
- ②旅行に行くか、家電を買う。
- ③明るくて元気な生徒が多いと思います。それぞれの目標に向かっていっしょに頑張ろうという気にさせてくれます。



教科(数学)

木原和典

①象

②海外旅行へ行きたいですね。

③素直な生徒が多いと思います。居心地よい学校生活ができていると思うのですが、厳しい環境で自らを鍛えるという雰囲気が出てくるとよいのではないのでしょうか。



教科(数学)

岡藤大輔

①虎

②1千万に増やす野望を計画する

③時間の流れが速いと感じます。1日があつという間に終わります。



教科(数学)

菅あゆみ

①ブタ

②家族でヨーロッパ一周旅行に出かけます。

③みなさん素直で真っ直ぐだと思います。たくさん元気をもらっています。



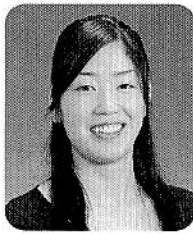
教科(理科)

高橋賢一

①狐(問われる度に違う動物を挙げている気もしますが)

②豪遊する(こういう輩には宝くじって当たりませんね)

③校舎が新しい。教室が斜めになって配置されているのが斬新。生徒は、挨拶ができる人、素直に人の意見を聞ける人、部活動と勉強を両立させようと頑張っている人が多い。活があつて楽しいと思える学校。



教科(理科)

山崎紗矢香

①ゾウ

②もっと大きな夢(宝くじ)が当たるように使っ

てみようかな?

③すれ違ったときに、元気に挨拶してくれたことが印象的でした。接していて、とても清々しい気持ちにさせてくれる、そんな素敵な皆さんだと思います。



教科(音楽)

石川斐耶子

①リス

②形に残るものに使いたいですね! 本を買うとかCDを買うとか、自分の楽器の整備に充てるとか: 夢ないですね。

③部活やその他の活動においても、一人一人の活躍があちこちで光輝いているなあと感じています。皆さんのそれぞれの光で、東高をもっと照らしていつてください!



教科(英語)

福田由美子

①クマ

②全部を宝くじ購入金に充てる。また当たればさ

らに購入してみる。

③のんびりしているなというのが第一印象です。だから、向上心をもっともう！ 毎日の地道な作業を大切にしよう！ そして夢に向かって前進して行ってほしいと心から思います。



教科（英語）

竹田 育子

①羊（いつも助けられているところが似ている。皆様、感謝です。）

②インドと南アフリカとフィリピンの貧しい人たちに寄付かな？

③素直で、まだまだ色々な領域で伸びる生徒がたくさんいる、希望に満ちた学校！ 毎日成長していく生徒の皆さんを見るのが楽しいです！



教科（英語）

ニコラ・ジョーンズ

①レッサー・パンダ（元気でかわいい？）羊もキーウイーも良い。

②半分をチャリティーに寄付する。残りの半分で

世界を一周する。

③東校の皆さんはとても元気に挨拶してくれる。演歌を歌う校長先生にビックリした。文化祭や体育祭が楽しかった！「黄軍団おめでとう！」授業でもっと積極的に楽しく勉強しよう！



養護助教諭

五明田 洋子

①のんびりしているコアラ

②暖かい所に旅行したいです。

③授業に行かないのであまりみなさんとお話する機会がないのですが、廊下などで会うと明るくフレンドリーに話しかけてくれるので嬉しかったです。女子の方が元気かな（？）という印象です。男子がんばれ！



企画主幹

坂本 淑子

①うさぎ

②旅行に行きたい。知らない国に行ってみたい。

③学校を卒業してから？十年。

まるで新入生のように不安と緊張と期待のスタートでしたが、まず感じたことは、生徒の皆さんがすごく素直で純粋。そして学校が「あたたかい」ということです。いろいろな事件が起き殺伐とした現在、こういう穏やかな雰囲気の中で仕事が出来ることをうれしく思っています。



実習助手

原 祐子

①猫

②パリ島に行つてのんびりしたいです。

③着任した日に、廊下で生徒の皆さんとすれ違う時に笑顔で気持ち良い挨拶してくれた事がとても嬉しかったです。挨拶が出来る生徒が集まっているからこそ、あたたかい雰囲気の学校になるんだなと思いました。





# 平成二十一年度 PTA会務報告

(平成二十一年四月一日～九月三十日)

- 一、平成21年度PTA関係会長会
- 二、平成21年度第1回PTA常任理事会(5/12)
- 三、平成21年度PTA役員引継・第1回役員会・  
総会・生徒活動後援会・学年PTA(5/16)

## 総会議事

- (1) 平成20年度会務報告
- (2) 平成20年度学校徴収金諸会計決算
  - ① PTA
  - ② 記念事業
  - ③ 施設充実費
  - ④ 進路指導費
  - ⑤ 生徒会
  - ⑥ 部活動振興費・学級費
- (3) 平成21年度PTA役員選出
- (4) 新旧役員挨拶
- (5) 平成21年度事業計画
- (6) 平成21年度学校徴収金諸会計予算

## 総会報告

- (1) 平成20年度末松江東高校人事異動
- (2) 教育方針・教育目標
- (3) 平成21年度校務分掌・学年の重点目標
- (4) 校務分掌等教員配置
- (5) 学級担任
- (6) 平成20年度生徒実績報告(部活動・進路)
- (7) スーパーサイエンス事業

## 生徒活動後援会総会議事

- (1) 平成20年度生徒活動後援会会計決算
- (2) 平成21年度生徒活動後援会役員選出
- (3) 新旧役員挨拶
- (4) 平成21年度生徒活動後援会会計予算
- 四、第1回評議委員会・安全互助理事会(5/17)
- 五、平成21年度県高P連総会(6/13)
- 六、第1回保護者面談(全学年)(6/15～18)
- 七、平成21年度第2回PTA役員会・PTA進路指導委員会・生徒指導委員会・研修委員会・  
広報委員会(6/19)
- (1) 学校近況報告
- (2) 本年度のPTAの活動について
- (3) 意見交換
- 八、第50回中四国高校PTA連合会大会

松山大会(7/6)

## 九、平成21年度PTA各地区支部総会

- 城東・川津、市内通学区外、隠岐(7/24)
- 安来、西津田・東津田(7/27)
- 朝酌(7/28)
- 竹矢、島根野波(7/29)
- 持田、美保関(7/30)
- 本庄、八束(7/31)
- (1) 学校近況報告
  - ① 学習指導
  - ② 生活指導
  - ③ 進路指導
  - ④ SSH
- (2) 意見交換
- (3) 学年別懇談
- (4) 次年度役員選出
- 十、第59回全国高校PTA連合会大会  
沖繩大会(8/26～28)
- 十一、平成21年度ガーデニング講習会(8/22)
- 十二、東雲祭 文化の部(8/28～30)  
ガーデニング作品展示



# 編集後記

「ふるさとを離れる方へ」

高校を卒業すると、多くの生徒さんは県外の大学等に進学します。私も県外で生活した経験がありますが、親元を離れ、県外で暮らしてはじめて、ふるさとの良さが分かるものです。ふるさとの自然、ふるさとの言葉……。とりわけ出雲の国は、古いものがそのまま残っていることが多いように思います。宍道湖や中海の景色の美しさはいうに及ばず、出雲神話、荒神谷遺跡をはじめとした遺跡、松江城や塩見縄手など。そう言えば、出雲弁にしてもそれが目立ちます。例えば、頑固なことを出雲弁で「きこ」（漢字では「騎虎」といいます。走っている虎の背中に乗っていると、降りたくても降りれなくなることからきています。ほかにも、「のよう」という意味で「げ」ということなど挙げればさりがありません。

故郷を離れ暮らして見ると、それらの一つひとつが愛おしく思えるものです。また、そう思っていただきたいと切に思っています。私があるように言う。「あげあげ・そげそげ」と賛同して下さるかたもいらつしやるのではないのでしょうか。

広報部 太田 美穂子

今回の特集は、「部活動と高校生活」ということで、原稿にご協力いただきました皆様、ありが

とうございました。

編集にあたり、各部活動とも、それぞれの目標に向かって一生懸命取り組み、高校生活の大切な思い出になったということを感じました。

また、部活動と勉強の両立などを心配しながらも子供たちを温かく見守る保護者の方々の気持ちも伝わってきました。

そして、これから新しいことに挑戦していく子供たちが、高校生活での経験や部活動で得たことを活かしていけるように、保護者として応援していきたいと思いました。

広報部 大國 晶子

三年生は具体的な将来像に向け、二年生は選択の難しさ、一年生は将来の希望に向け、それぞれの立場で一喜一憂している時期かと思えます。

得るものも多く、失うものも多い現実を踏まえ、如何に自分らしく生きるかが、皆様の永遠のテーマであり幕開けです。

世の中は理想と現実の狭間で動いている状況下で、今の学生生活は貴重な体験が出来る時間です。人は必ず過去を振り返ります。

果たして、将来高校生活を振り返って、良い思い出となるかは、今を一生懸命にそして、真面目に毎日を送ったかで決まります。

最後に、東高校生として、礼儀正しく、積極果敢に、取組む姿勢を忘れずに、頑張ってください。

広報部 田巻 道子

## 編集委員

安達 久美子  
田巻 道子  
金村 慶一  
太田 美穂子  
横川 隆子  
大國 晶子  
安部 あずさ  
福田 由美子  
前田 智子





〈表紙の絵〉竹田 茂（本校教員）

〈題 字〉

P T A 会報 森 聡 哲 朗（旧本校教員）

嵩 山 上 田 久 美 子（十三期生保護者）